

# マンション・アパート等を所有または管理されている方々へ！ — 電気設備の点検、保守管理は大丈夫ですか？ —

## 屋外に設置されている配電箱の雨水浸入防止対策のお願い

電気安全関東委員会

配電箱は、長年の使用から発生した腐食箇所などから雨水が箱内に浸入し、内部機器の錆による故障、絶縁の劣化、感電などの事故に至ることがあります。

特に、雨水浸入に起因する配線用遮断器内部の腐食による錆が原因で、電気事故が発生した場合には、多くのご家庭の家電機器の損傷を引き起こすことがあります。

配電箱を屋外に設置する場合には、電気事故防止のため、施工時や施工後の雨水浸入防止対策をお願いいたします。

配電箱をご存知ですか？  
配電箱の保安責任は  
所有者にあります。

マンションやアパートにおいて主に屋外等に施設されている配電箱は、各家庭へ電気を配るための開閉器等を納めた**お客さまの重要な電気設備**です。従って、その**保安責任は、マンション、アパート等の所有者**にあります。

配電箱は定期的に  
点検していますか？

配電箱を長期間使用していると劣化、腐食箇所等からの雨水浸入による事故が発生することがあります。このような配電箱への雨水浸入による電気事故を防ぐために、**定期的な点検、保守管理**をお願いします。

配電箱への  
主な雨水浸入箇所と  
その防止対策

### 1. 配電箱への主な雨水浸入箇所

- ①配電箱へのケーブル引き込み箇所（上部）
- ②配電箱の錆による腐食箇所
- ③配電箱と建物との隙間

### 2. 雨水浸入防止対策

#### 施工時

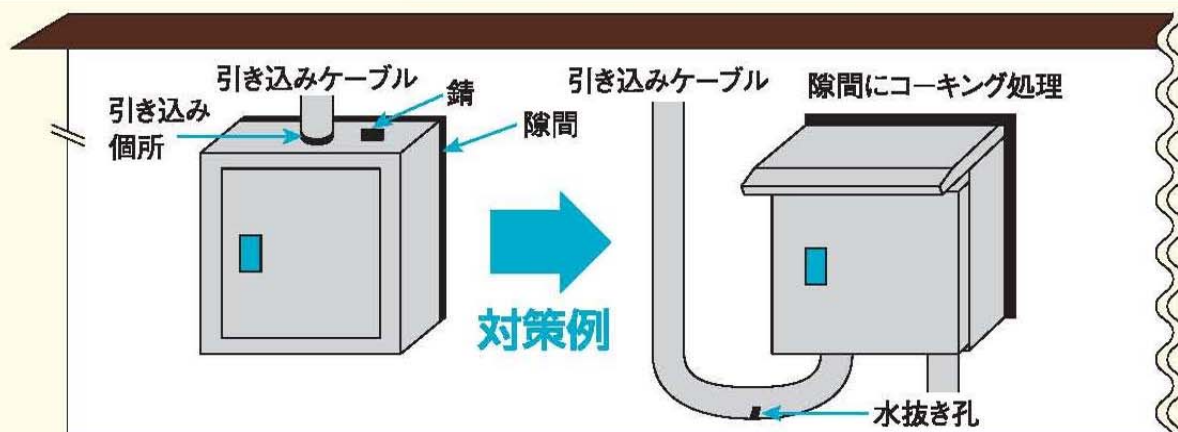
- ・極力、屋内や雨線内の雨のかからない場所に設置する。
- ・屋外に設置する場合は、雨線内であっても屋外用（保護等級IPX3以上）の防雨形を使用する。
- ・配電箱へのケーブルの引き込みは下部より行い、ケーブル引き込み、引き出し口には、コーキング処理等の防水対策を行う。
- ・配電箱を建物に取り付ける場合は、隙間から水が浸入しないようにコーキング処理等の防水対策を行う。
- ・電線管による場合、その最下部には水抜き孔を設ける。

#### 施工後

- ・定期的に、配電箱の外・内部や配電箱内部に施設された開閉器端子部の錆の有無やコーキング材のひび割れ等を点検する。

### ● 雨水などの浸入による事故対策例

屋外（屋側）に設置した配電箱（キャビネット）に雨水が浸入し、事故に至った例。



● お問合せは

電気安全関東委員会 事務局 TEL. 03-3213-1676 まで

# 屋外に設置した配電箱に雨水が浸入し事故に至った一事例

## 配電箱施設状況



配電箱天板部腐食状況 (外側)  
(上部、側面に腐食空隙)

側面



ケーブル貫通防水処理部 (天板部)

電力量計収納部内部腐食状況  
(天板部より浸水)

ケーブル貫通防水処理部 (天板部)



腐食による隙間 (側面)

配線用遮断器内部腐食状況



引込開閉器収納部  
(底板腐食により脱落)